

新入社員の声「包装容器の製造・販売企業編」



入社する前から、日本のパッケージは素晴らしい、よく出来ていると思っていた。
売場で視認しやすいし、綺麗なパッケージが多いし、開けやすいし、捨てやすい。本当に便利!!



入社して思ったのは、想像以上に、一つ一つのパッケージが丁寧に企画・提案され、サンプルを作り、問題がないか確認を重ね、多くの人が携わって、発売されること。店頭のパッケージに自分が関わった商品が並ぶ嬉しさは感無量!!



パッケージは、私たちの生活に「必要なもの」。「食品の保存」や「持ち運び」にも必須。そういう需要に応えるために、パッケージ産業界は、これからもしっかりモノ作りを続けていかないとね!!



将来に続くことって持続可能(Sustainability)って言うよね。お客様(生活者)に、「このパッケージのおかげ」としてもらえるのは嬉しいけど、未来に向けて、大事なことがあるよね。環境課題や社会課題への対応だよ。小さなことでも、「地球温暖化ガスの発生量を減らす」、「安易にゴミにせず資源循環させる」とかめちゃくちゃ大事だよ!!



先輩と一緒に取り組んでいるけど、パッケージの機能を守りながら、3R+Renewableなど環境対応を行うのは、本当に大変なんだ。だけど、やらなくっちゃ。この前、学生さんには、「そのパッケージって、どこから来て、どこに行くんですか」と聞かれたんだよね。そういう心配をさせないよう、取り組まないとね!!



「環境サステナブル・ソリューション」って、つまりイノベーションと変化だよ。世界中で、「新しいリサイクル技術」、「モノマテリアル技術」、「紙の高機能化」、「バイオマスプラスチック」、「海洋生分解性プラスチック」などが始まっているね。パッケージ産業界の未来にワクワクするね!!

新入社員の声「包装容器の製造・販売企業編」



パッケージは、単に中身の保護、流通手段だけではなく、生活を豊か（簡便調理や易廃棄など）にし、社会課題解決にも貢献することができる！



営業の意見（商品アイデア・ネーミング・デザイン）が製品化されるチャンスがある！パッケージ営業だと、得意先のマーケティング部門とモノづくりができる。！



パッケージは、商品開発や製造者のアイデアや想いを閉じ込めて、生活者に届けるために必要なもの。



パッケージは店頭で一番大事なコミュニケーションツールです。店頭でのプロモーションがしにくい昨今、商品のおいしさや安全性、様々な魅力をパッケージを通して生活者へ伝える唯一無二の手段です。



ほぼすべての容器包装には、その形である理由があって、のめりこめばのめりこむほど、こういう理由だからこの包装形態なんだ！っていう新しい発見がたくさんあります。それを見つけるのがとても好きです。

新入社員の声「包装容器の製造・販売企業編」



段ボール事業を含めた幅広い事業を展開していたこと、また海外事業を推進していることを知り、グローバルな面でも視野を広げた面白そうな仕事が出来そう！

段ボール事業は営業がいかに仕事を取ってくることが鍵で、責任ある仕事を任せられている！



人々の生活の基盤となる産業で、かつ持続可能な社会を目指している企業である点！

休日にスーパーに買い物に行き、自らが考えた段ボールが店頭に並んでいる姿を見ると、人々の生活を支えている仕事が出来ているのかな？と誇らしく感じる！



学生時代にスーパーの品出し、物流センターで食品・飲料ケースのピッキングのアルバイトをしており、様々な形状の段ボールに触れる機会が多くあり興味を抱いていた！

目立ちづらい業界ではあるものの説明会や選考に進む過程で、段ボールや紙が想像以上に世の中を支えていることが解った！



新入社員の声「包装機械の製造・販売企業からの声」



「充填機って、ただ牛乳や飲み物を詰める機械だと思っていました。でも実際は違いました。食品メーカーの工場を支え、日本だけでなく世界中へ安全な『食』を届けるための大切なインフラなんですよ。」



最近AIやロボット、デジタル技術を取り入れたスマートファクトリー化が進んでいます。充填機やパッケージもどんどん進化していて、最先端の技術に携われるのが面白いですね。



賞味期限を延ばすことは、食品ロスを減らすだけではないんですよ。海外への輸出を可能にしたり、災害時の備蓄食品として役立ったりと、社会に大きく貢献できる仕事だと実感しています。



スーパーやコンビニで、自社の機械やパッケージでつくられた商品を見つけると、つい手に取ってしまいます。『この商品を支えているんだ』と思うと、ちょっと嬉しくなります。



私たちがつくっているのは機械ではありません。世界中の人々へ、安全でおいしい『食』を届ける未来です。